



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 村 上 泰 啓
幹 事 小 原 一 眞 会 報 委 員 長 泉 浩 一



Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2484
2021-4-9

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

4月9日(第2例会)

●例会場

シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

●卓話

「都ホテルの歴史と今」

この4月6日(火)にグランドリニューアルを迎えたウェスティン都ホテル京都の歴史と今をご紹介します。

平田芳久会員

●次年度理事会 11:30~12:10

シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

◆会長の時間◆

今日はマイロータリー未登録の方に登録のお願いをいたします。

大阪城南ロータリークラブの50周年の時のマイロータリー登録率は100%でした。今、登録率が落ちてきています。理由は新入会員の未登録であるようです。新入会員で未登録の方はぜひ登録をお願いします。マイロータリーの中にいろんな情報が満載です。特にラーニングセンターに入るといろいろと動画で教えてくれます。新入会員の皆さんにラーニングセンターで学ばれることをお勧めします。

次週のお知らせ

4月16日(第3例会)

●例会場

シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

●卓話

「避難所の景色を変える」

Jパックス(株)

代表取締役社長 水谷嘉浩氏

(中尾吉計会員担当)

●食膳

<日本料理 和定食>

◆幹事報告◆

①以下の事項について理事会にて承認されました。

(ア)今後ハイブリッド例会を進めていくこと。

(イ)5月14日(金)、春の家族会を開催すること。

(ウ)入会されました遠田会員、佐伯会員の所属委員会は親睦・出席委員会とすること。

②本日ポストしております岡俊介様の入会を理事会で承認いたしました。この件に関してご異議がございましたら、4月8日(木)までに理事会宛の理由を付記して書面にて幹事までお申し出ください。

次々週のお知らせ

4月23日(第4例会)

●卓話 「OSK日本歌劇団歴史と現在」

トップスター 楊 琳様

(プログラム委員会担当)

卓話

4月2日(第1例会)

「超高齢社会における医療の現状と今後の課題」

医療法人協和会病院 理事長 北川 透氏

(プログラム委員会担当)



我が国は、戦後これまでに例がないほど急速に平均寿命が延長し、また高齢化も進み、2007年には65歳以上の高齢者人口が21%を越えて超高齢社会に入りました。その一方で、総人口は2008年をピークに減少に転じています。医療費における高齢者医療の占める割合は、今後ますます増大することが予想される一方で、我が国の債務残高は約932兆円(令和2年度)ということで、GDP比では240%前後と世界トップの状況です。我が国の人口あたりの病床数は12.3床/1,000人と諸外国に比べて圧倒的に多い訳ですが、一方で1950年頃には8割の国民は

先週の記録

4月2日(第1例会)

●出席報告

出席会員 35名 (内免除会員6名)

会員総数 46名 (同上13名)

ゲスト 2名

ビジター 0名

計 37名

ホームクラブ出席率87.17%

3月19日(第3例会)補正出席率100%(MU4名)

●ゲスト&ビジター (敬称略)

北川 透 (卓話者)

佐伯 陽子 (佐伯清孝会員のご夫人)

母子の健康月間

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

自宅で亡くなってましたが、現在は逆に8割が病院で亡くなっているという課題があります。戦後の第一次ベビーブームである団塊の世代の方々が75歳以上の後期高齢者になる2025年問題がありますが、2025年以降さらに我々はこの方々を看取っていく訳ですから、本来はさらに病床が必要になってきます。しかしながら、既に人口減少の時代であること、病床数が諸外国に比べて多いこと、加えて政府の債務残高を考えれば、今からさらに新たに病院を増やすという選択肢はありえないのかと考えます。そこで、我が国で進められているのは、病院を高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4つに分けて病床を機能分化させて連携させながら、在宅復帰を推進しようということです。これをよりスムーズに進めるために、地域包括ケアシステムの構築は重要な課題であると思われます。仮に平均在院日数が半分になれば、病院を増やさなくても2倍の患者を受け入れることができる訳ですから。

最後に、こうした中で、当法人が現在、進めている2つの新たな取組み、(1) 公立病院と民間病院との再編統合による全室個室の川西市立総合医療センター、(2) がん治療における新たな選択肢のひとつとしての大阪重粒子線センターをご紹介します。

にこにこ箱

4月2日(第1例会)

- 佐伯清孝さんをよろしくお願ひします。
また北川 透先生に卓話をお願いしました。
本日はよろしくお願ひします。
中本会員
- 佐伯さんようこそ！皆さん、佐伯さんをよろしくお願ひします。
中谷会員
- 佐伯さん、ご入会お目出度うございませう。多分、親父さんも草葉の陰で微笑んでいることでしょう。
山口会員
- 入会いたしました。よろしくお願ひいたします。
佐伯会員
- 今日も楽しく！
奥田会員
- その他お祝ひ 17件

お知らせ

- 泉会員 自宅住所変更

新住所

〒604-0041
京都市中京区押小路通西洞院西入二条西洞院町631-3

(編集担当 泉・野村)



▲新会員入会式 左から中谷会員(推薦者)、佐伯会員令夫人、佐伯会員、村上会長、中本会員(推薦者)



▲4月誕生日 左から遠田会員、濱田会員



▲4月結婚記念日 左から浅井会員、今井会員

会員増強にご協力を!!